

パスワード復旧サービス

文書ファイルとシステムにパスワードをかけ、セキュリティを強化することがあります。しかし、パスワードを忘れてしまったり、システムエラーなどでパスワードが変更され、そのファイルにアクセスができなくなる場合があります。

[データ復旧](#)研究センターでは、パスワード問題でファイルやシステムが使えなくなった場合、迅速な対応で復旧を行っております。まずは、お問合わせください。

復旧可能パスワード

CMOSに設定されている場合

CMOSにパスワードを設定しておきますと、パソコンの起動時に必ずパスワードを入力しなければ、起動できなくなります。パスワードがパソコンメモリのメモリとハードディスクのシステム領域に保存されますので、大切なデータならば、他人がパソコンを勝手に使うことができないという利点があります。

しかし、パスワードを忘れた場合やエラーが発生した場合は、パソコンを立ち上げることさえ出来なくなります。特殊装置を使いファームウェアを復旧しなければなりません。

ハードディスクに設定されている場合

この方法は他人がもしコンピューターのドライブを持ち去った場合でも、ドライブの内容を確認することは出来ません。C-MOSとハードディスクにパスワードが記憶されます。パスワードを失ってしまった場合、再びパソコンが使えなくなることもあります。それほどセキュリティが強化されています。

Rootのアカウントに設定されている場合

パスワードを忘れてしまったり、ハッキングによりパスワードが変わってしまったりしたなどの場合には、システムの内容を確認することができなくなります。

他のSystemで内容を確認することができる場合には、そこでデータのバックアップを取れば良いのですが、それが出来ない場合には復旧会社にご相談ください。

ディレクトリに設定されている場合

この方法は、ドライブ内のフォルダや、複数のフォルダにパスワードを設定する方法です。このフォルダの内容を確認する際に、パスワードが一致しないとアクセスすることができません。

暗号化された圧縮ファイル

ファイルは圧縮時にパスワードを設定することができます。パスワードを設定する際の入力ミス、またはパスワードを忘れてしまった場合はファイルにアクセスが出来なくなります。

このような場合でも、圧縮ファイルの種類にかかわらず、パスワードの復旧は可能です。

Windows暗号化方法

EFS (Encrypting File System) 暗号化

EFSとはNTFSが持つファイル暗号化機能を言い、ファイルやフォルダに「属性」として設定され、暗号化属性が付加されたファイルはディスク上に暗号化された状態で記録されます。

暗号化されたデータは、暗号化を行ったユーザにしか復号できません。同じファイルにアクセス権を持っていても他のユーザは、データを復号できないために、事実上アクセスが不可能になります。

Windows 2000、Windows XP 及び Windows Server 2003の EFSはデータ復旧エージェント(DRA: Data Recovery Agent)を利用して、他の使用者が暗号化したファイルの暗号を解読することができます。

また、認証の損傷や、紛失された場合には暗号化したデータを使うことができません。EFS 暗号化機能は強力なセキュリティ機能を持っているので、いくつかの条件をクリアできなければ復旧は出来ません。まずはご相談下さい。

BitLocker (ビットロッカー)

BitLockerとはWindows Vistaに搭載されるディスク暗号化機能で、マザーボードに搭載したTPM(Trusted Platform Module)チップと連携することで、ハードウェアレベルでデータ漏洩を防ぐ機能です。

ハードウェアに固有のキーを使ってハードディスクの内容を暗号化し、不正な手段を用いたデータの読み取りを不可能にします。BitLockerでは、OSのインストールされたボリュームのみを暗号化するため、他のボリュームに関しては、従来の暗号化ファイルシステムを用いる必要があります。

しかしBitLockerを用いれば、不正な手段ではOSを起動できず、OSのインストールされた領域が保護されるため、間接的に他のボリュームも保護されるようになっています。

Windows暗号化 EFSと BitLocker比較

BitLocker	EFS暗号化システム	BitLockerはWindowsがインストールされた
ドライブのすべてのファイルやシステムファイルを暗号化します。		EFSは、ドライブの個々のファイルを暗号化
BitLockerは、すべてのユーザーまたはグループごとに設定されます。	BitLockerは、ファイルと関連して、個々のユーザーアカウントとは関係がありません。	します。
ファイルは暗号化します。コンピュータに複数のユーザーやグループが存在する場合は、各ユーザーやグループが、自分のファイルを個別に暗号化することができます。	EFSは、ユーザーアカウントに応じて、	BitLockerは、いくつかの最新のコンピュータで
高度なセキュリティ機能をサポートする特殊マイクロチップであるTPMを使用しています。	BitLockerを使用する場合に、この機能を有効や無効にするには	EFSは、特別なハ
ハードウェアは使用されていません。	管理者でないとできません。	ードウェアは使用されていません。
EFSは、管理者でなくても使うことができます。		

パスワード復旧作業時間

初期診断は1～24時間で終わります。データ復旧にかかる時間は1日～2日程度です。

パスワード復旧費用

まずは、無料の初期診断を行い、障害の原因・復旧の可否・お見積りなどをお伝えいたします。

パスワード初期診断の完全無料

[データ復旧費用の詳細はこちら](#)

安心の成功報酬制

復旧費用は成功報酬制になっており、復旧が出来なかった場合は費用も発生致しませんので安心してお問い合わせください。

[成功報酬制の詳細はこちら](#)

データセキュリティシステム

お客様がデータ復旧をご依頼される際に、最も考慮すべき事項としては依頼先のデータ復旧技術力、データ復旧費用・期間、そして復旧データのセキュリティシステムであります。

当社はISO認証を取得しており、厳重なセキュリティシステムでお客様の大切なデータを管理しています。

ISOは世界147ヶ国以上の会員国が参加し、国際標準を策定している品質標準です。ISO認証を取得した企業は技術及び品質管理が世界水準にあるという証しでもあります。

弊社のセキュリティシステムは多くの企業、会計法人、学校及び研究機関から検証されています。

パスワード復旧事例:システムダウンされた後、ファイルにアクセスできない

依頼内容	使用機器	EFS暗号化ファイル	障害メデ
イア Hitachi Travelstar 80G HDD HTS548080m9AT00		OS/システム	Microsoft
Windows XP – EFS暗号化ファイル	ファイルシステム	NTFS	作業内

容

障害状況	パソコンがシステムダウンされた後、ファイルにアクセスできない。		
診断結果	証明書が損傷され、ファイルにアクセス不能	復旧時間	初期診断 3時間、
作業時間 1日	復旧結果	100 %	エンジニアコメント EFS証明書ファ

イルが破損されファイルにアクセス出来ない状態だったので、証明書を修復し、暗号化を解除しました。

[復旧事例をもっと見たい方はこちらへ](#)